

共生にいきるとは

- 新型コロナウイルス感染症拡大のただなかで -

2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に晒され、人と人とのつながりが制限されています。地域においても心配な状況におかれた家庭は、もはや要支援・要保護家庭に限ったことではありません。その影響は人を二極化し、新たな分断と差別を生んでいます。いま、地域福祉にかかわる私たちの態度をあらためて問い直すときではないでしょうか。そして、人と人が対話と人格的なつながりにより、生きる喜びと明日への希望を分かち合うことを通し、私たちが考える「共生」とは何かを明らかにしたいと思います。

日本の社会は、福祉課題に対して分野別の制度を基本としてさまざまな課題の解決をめざしてきました。しかし、制度は万能ではないため、制度の狭間の問題を生み出します。

そして、包摂とよく言われますが、その前に分断、排除していることを問題化せず、個人の責任にして個別救済をしようとするいま、やればやるほど問題の本質が隠蔽されていくような気がします。現在、顕在化している、さまざまな福祉課題の背景にある問題の本質に私たちも当事者としてともに寄り添い、ときに杖として支え合える存在としてあり続けたいと考えています。人とのつながりを大切にすることは、私たちにはできます。上から目線の「個別救済、助ける」から「ともに生きていく」ことへの転換が必要ではないでしょうか。

地域福祉は人間の尊厳と権利を守る社会的実践です。人間の弱さや脆さの視点から見れば、人権保障の制度・施策でもあります。私たちは、構造的な問題から日々の暮らしの細部を見つめ、全国の友とともに地域で起こるさまざまな現象に向かい合い、その声なき声に耳を傾ける必要があるのではないのでしょうか。

活動に何ができるのかを考え、ソーシャルアクション、行動を起こすことで、その動きが人の心を動かす大きな波紋になり、お互いの違いを喜びとして認め合える社会の実現をめざしていきます。

今大会の開催にあたって

日本地域福祉施設協議会主催「全国地域福祉施設研修会」は、今年度で第25回を数えます。毎年、東京、東海地区、大阪を中心にさまざまな地域で開催されてきたこの研修会ですが、今年度は大阪が担当することになり、実行委員会では、新型コロナウイルス感染症対策と並行して、例年通りの規模での開催に向けて取り組んでまいりました。基調講演や分科会、パネルディスカッションなどの演者のみなさんを始め、フアンリティーや運営委員が開催に向けて尽力してきました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大が予想を超え、全国各地で医療崩壊が叫ばれるなか、断絶の想いで開催方法の変更を余儀なくされました。

ただ私たちは、中止・延期という決断ではなく、新型コロナウイルス感染症拡大のただなかで「何が必要なのか」「今だからこそできることがあるのではないだろうか」という結論に至りました。本当は実際にお会いし、対面での議論や懇親会での交流などの再会を楽しみにしていましたが、今大会はオンライン開催といたします。事前の基調講演の動画視聴やオンラインでのパネルディスカッションなど初めての試みが多く、不慣れな部分があるかとは思いますが、それでも①全国各地のどこからでも研修会に参加できて交通費や宿泊費がかからない
②リアルタイム以外でも視聴期間内であれば何度でも視聴できる
③自施設で多くのおみなさんが研修会に参加できるという“三得”があります。今だからこそできる“新たな研修様式”をぜひ一緒に経験しましょう。奮ってのご参加をお待ちしております。

0 お申込み	1/12(火)～2/6(土)	視聴ID/パスワード発行
1 オンデマンド配信	基調講演 阿部英樹さん 2/8(月)～2/20(土)	YouTube 配信 YouTube
基調講演を基に、ディスカッションします		
2 ライブ配信	Panel discussion live 2/20(土) 14:00～16:30	同時視聴定員 300人 (zoomとYouTube) Zoom YouTube
3 オンデマンド配信	3/1(月)～3/31(水) ①基調講演 ②パネルディスカッション (録画)	YouTube 配信 YouTube

視聴ガイドは、お申し込み後にご案内いたします。

●今回の研修会に携わった大地協のスタッフたち。(順不同)
倉光博二、金恵栄、小倉啓二、西野伸一、長瀬光子、楠勇、辻野寛弘、名城輝盛、藤川隆二、尾崎隼人、林登美子、角中恒介、川畑亮輔、室川成雄、岡村慎一、加藤久美、横谷直樹、海老子隆一、入江武司、野間広司、勝山美紀、杉村かおる、竹内久美、永岡正己、大川明宏、並江良樹、松村智子

第25回 全国地域福祉施設研修会

On-line Panel discussion

共生に いきるとは

～新型コロナウイルス感染症拡大のただなかで～

Live 配信	2021年2月20日(土) 14:00～16:30
視聴期間	2021年2月8日(月)～3月31日(火)
配信会場	育徳園保育所別館 半分ホール(一般入場は不可)
主催	日本地域福祉施設協議会 特定非営利活動法人 大阪地域福祉施設協議会
後援	厚生労働省/大阪府/全国社会福祉協議会/大阪市社会福祉協議会/大阪府社会福祉協議会/毎日新聞大阪社会事業団/産経新聞大阪朝日学生文化事業団/大阪ボランティア協会 住民/施設利用者/地域福祉施設(障保院、児童館、子育てセンター、特別支援老人ホーム、保育園、他各種社会福祉施設)職員/社会福祉協議会関係者/研究者/学生/NPO/ボランティア/行政関係者
参加者	団体・施設 10,000円/個人・一般 2,000円 学生応援キャンペーン無料
視聴費	PC・スマホ・タブレットなどの視聴環境があれば、ご都合の良いときにいつでもどこでも視聴できます。
申込み期間	2021年1月12日(火)～2月6日(土) 入金確認をもって応募受付
申込みお問い合わせ	特定非営利活動法人 大阪地域福祉施設協議会 TEL:06-6633-2965 Fax:06-6633-2970 〒557-0004 大阪市西成区萩の茶屋2-9-2 わかさ保育園内 隣川晴之(ワカカワ)宛 http://www.daichikyoo.jp/ 大地協
申し込み	お申し込みからもお申し込みいただけます。

QRコード

スマホ・PCからの申込みにて、詳細を返信いたします。
<https://forms.gle/NGi2umvQ2pvnVj6c6>
●ご入金確認後、順次、視聴IDをメールでお知らせいたします。

オンライン配信
基調講演 約30分

2021年2月8日(月)～2月20日(土)

事前にご覧ください。期間中どこでも視聴できます



共生にいきるとは

～新型コロナウィルス

感染拡大のたどる道



講師
阿部 志郎 さん

日本地域福祉施設協議会 名誉会長

● 1926年東京に生まれる。1949年東京商科大学卒業。同年明治学院大学に奉職、のちに助教授。1950～52年米国ユニオン神学大学に留学。1957年社会福祉法人横須賀基督教社会館館長に就任。2004年神奈川県立保健福祉大学学長に就任。現在、社会福祉法人横須賀基督教社会館会長、神奈川県立保健福祉大学名誉学長などを歴任。2017年(平成29年)青山学院大学名誉博士。

1 金光敏 さん

(特別) CJUP NGO センター事務局長
/Minami こども教室実行委員長

● 1971年大阪府生野区生まれ。在日コリアン3世。大阪府立大学大学院修士。特定非営利活動法人CJUP/NGO センター事務局長。多文化共生、人権学習の教育コーディネーターを務め、さまざまな子どもたちを支援するソーシャルワーカー。NPO事務局長以外に、大学非常勤講師、学校法人白頭学院連国初小中高校理事、外国人の子どもたちを対象にした夜間教室「Minamiこども教室」実行委員長、行政委員など。著書「大阪ミナミの子どもたち」(彩流社)



3 伊藤 悠子 さん

MYTREE ヘルパー、プログラマー兼講師

● 大阪に勢いがあつた時代、大阪府市同和地区医療センター 芦原病院に勤務。(1981～2017年)。当事者の視点で時代に即したニーズをとらえ、検証するプロジェクトによって、公衆衛生の諸活動を担う。▼1990年代～人権教育としての性教育、思春期相談、教育・福祉支援職研修・医療看護専門教育に携わる。▼2001年～「ごろごろくらぶ」(10代妊婦と親子のピアサポート)を保健所と運営。▼2000年～わが町にしなりの子育てネット、NPO子育て運動えん(現理事)に参画。▼待たからの回復支援「MY TREE ヘルパー」・「プログラマー」を西成を拠点に開始(2003年～)。▼大阪府(2006年～)、大阪府(2007年～)の児童相談所の事業委託を受け、家族再統合支援事業を協働実施し続けて18年目。▼2010年～芦原病院の民間移譲後、大阪府済生会泉尾病院にて、臨床倫理に携わる。困難な問題に直面した人の共同意思決定や、職員のメンタルヘルスサポート、その他、医療における今日的課題を扱う。目下は新型コロナウイルス感染症における倫理問題のご真ん中で、持続可能な資源の活用を模索中。



共生にいきるとは

On-line Paneldiscussion

2021年2月20日(土) 14:15～16:30 オンラインパネルディスカッション

～違いを喜びが合える社会をめざして～



2 野坂 祐子 さん

大阪大学大学院人間科学研究科 准教授

● 博士(人間学)。臨床心理士。公認心理師。専門は発達臨床心理学とジェンダー学。大阪教育大学学校教育メソッドサポートセンターでの勤務を経て、2013年より現職。主に児童福祉領域や学校現場において、性別意識の問題行動などへの介入実践、研究を行う。著書「トラウマインフォーマティブ」"問題行動"を捉えなおす援助の視点」(日本評論社)



5 濱島 淑恵 さん

大阪歯科大学医療保健学部(社会福祉士コース) 准教授

● 日本女子大学大学院人間社会研究科社会福祉学専攻博士課程(後期)退学。2017年3月、金沢大学で博士(学術)を取得。専門領域は、家族介護者が抱える生活困難と支援。主な著作は、「家族介護者の生活保障ー実態分析と政策的アプローチ」(旬報社、2018年9月)第25回社会政策学会賞(奨励賞)を受賞。

● 近年では、ヤングケアラーに注目し、2016年に大阪府立の高校で、2018年には埼玉県立の高校でヤングケアラーに関する高校生調査を実施し、ヤングケアラーの存在割合、ケアの状況等について調査研究を行っている。2018～2019年度は厚生労働省の子ども・子育て支援推進調査研究事業の研究班メンバーとして、要対協を対象としたヤングケアラーに関する調査に取り組んだ。2020年度は同事業の研究班メンバーとして、ヤングケアラーの全国調査に取り組み、ヤングケアラーたちがあつまる当事者の会「ふうせん会」を立ち上げた。その他、日本ケアラー連盟ヤングケアラープロジェクトのメンバーとして、南魚沼市、藤沢市でのヤングケアラー調査に参加した。



6 楠 勇 さん

望の門保育園 園長

● 1978年大阪府生まれ。保育士。社会福祉法人望の門保育園勤務。同法人内の学童保育や夜間保育担当を経て、現在3・4・5歳児の異年齢保育を担当。



7 西野 伸一 さん

大國保育園 園長

● 1973年大阪府生まれ。保育士。社会福祉法人石井記念愛染園「愛染橋保育園・児童館」(今池こども園)の園長「わかさ保育園」を経て現職。「わか明」にしなりの子育てネット」事務局長。「にしなりのあそびパークProject」相談役。NPO法人子育て運動えん理事。社会問題研究会共同代表。



第25回 全国地域福祉施設研修会 参加申込書

■参加申込

○団体・施設申込

施設・団体名			
所在地	〒		
電話番号		FAX	
E-Mail			
担当者氏名		職種	
視聴端末数	※団体・施設申込の場合、最大5つの端末での視聴が可能です。 使用される端末数を教えてください。 () 端末		

○個人・一般申込 (視聴は1端末にてお願いします。)

氏名		職種	
所属			
住所	〒		
E-Mail			
電話番号		FAX	

■参加費用 () に○印をご記入ください。

<input type="radio"/> 施設・団体申込	10,000 円	()	合 計 円
<input type="radio"/> 個人・一般申込	2,000 円	()	
<input type="radio"/> 学生申込	0 円	()	

参加費振込先

郵便振替 口座番号 00990-8-135453
加入者名 日本地域福祉施設協議会

※同封の振込用紙をご利用下さい。

※学生以外の申し込みは、口座に研修参加費をお振込みいただき次第、申込み完了とさせていただきます。(今回、300人の定員を設けさせていただいています。申込受付順ではなく、研修参加費を振り込んでいただいた順にカウントさせていただきますので、あらかじめご了承ください。)

※振込手数料はご負担いただきますようよろしくお願いいたします。

□お問い合わせ先

大阪市地域福祉施設協議会 事務局 わかくさ保育園内 (担当: 蕨川)
〒557-0004 大阪市西成区萩之茶屋2-9-2
TEL 06-6633-2965 FAX 06-6633-2970